

日時：4月23日（日）18時30分～21時

場所：奈良市中部公民館と Zoom のハイブリッド

参加者：山田（大阪）、山下（大阪）、溝田（島根小学校教員）、吉原、福西、菊田、榊井、林、黒田（昌）、黒田（和）

議題：

1. 協力隊ナビ（奈良県）「JICA 海外協力隊ってなァに」相談会
2. 来年度（2023年度）役員及び会則について
3. その他

発表者：福西（（2016年度、4次隊：インド派遣：日本語教師））

JICA 海外協力隊について

現地の活動について

JICA 奈良デスクからのお知らせ

質問：

1. 応募の書類について
→Web 上での申請となるため、JICA ホームページを確認すること
2. 語学について、英語の資格は必要か？
→受験の際に必要：英検 3 級または TOEIC330 点以上、他同等の資格を有する必要がある))
3. 技術系で無く営業系でノウハウがある場合は、どの職種を選んだらよいか
→営業職という職種はないがコミュニティ開発や青少年活動などがある
4. 今年度の応募で来年度派遣??、教員としては、どのような職種があるか？
→要請により派遣時期は異なるので、JICA ホームページ・説明会等で確認が必要。また職種は物理教育・数学教育・日本語教育・小学校教育がある。
→要請内容は、依頼国により同職種であっても内容が異なるので JICA ホームページにより確認すること
5. 事前に持っていくものはどうしたら良いか
→派遣前訓練の際に現地事務所の人とのコンタクトが可能
→継続している派遣であれば、先輩達の話も聞く機会も設定できる
6. 語学資格について募集に間に合わなかったら
→英検や TOEIC は開催される時期が限られるため、ネット上で受験できるものもを活用する方法もある（CASEC,IELTS）
7. 現地活動での注意点
→継続している業務でも、業務内容について先輩達からの引継ぎはない。自

分で考え、模索して行動する

→組織での序列がはっきりしているの、取り決め事はキーマンとのコンタクトが大事。

→あまり派遣前から構想を練っていても、その通りには行かない。まずは現状把握をしっかりと行う。

8. 困ったときに相談できる人

→一緒に派遣される同期隊員や先輩隊員、JICA 現地事務所には調整員がいるので、あまり心配することは無い。

→昔のように電話やネットワークが繋がらないことは無いので、連絡継投をしっかりと把握しておくが良い。

10. 各都道府県のデスクに連絡を取る方法

→今回の参加者も他府県でしたが、各県には JICA デスクが設けられていて、メールや電話で連絡することが出来る

→基本的にメールアドレス構成は、jicadpd-desk- (府県名 (例 : naraken)) @jica.go.jp

2. 来年度 (2023 年度) 役員及び会則について

(1) 会則が PDF しかなく、Word で黒田会長が作成する。作成した会則については、本日参加の OV 宛てにメールで送るので確認願いたい。

(2) また、役員構成については、顧問や全体の人数を現状定例会に参加してくれているメンバーで構成し、10 名の枠にとらわれず実態に合わせて縮小する。会計監査員を 1 名、顧問には吉原さん、福西さんに入って貰い、再検討することとする。

(3) 役員名簿は、ホームページで公表しない、

その他

(1) 今回発表してくれた福西さんの JICA 協力隊募集要項の情報を、今後の発表でも必要な情報ではないか。応募期間中には福西さんにお話しをしていただく、その情報を把握しておくというのはどうか (吉原)

(2) 福西さんの毎回参加は難しいが・・・資料を共有いただき発表者がその資料で説明する、JOCA 大阪に応募要項をまとめた資料を提供いただく等、資料を入手する (黒田会長)

(3) 今年に入ってから奈良県以外 (JOCA 近畿ブロック以外含めて) からの参加が多く、ブロック会議等で状況を共有して行く。(黒田会長)

(4) 吉原さんと Zoom アカウント/請求先の変更/等、を 5/16 : 10 時より実施 (黒田会長)

**次回は、協力隊ナビ&定例会に加えて、2023年度総会を以下の要領で実施

日時：5/21（日）16時～総会（中部公民館）／18時～懇親会（お店を検討中）

方法：中部公民館とZoomのハイブリッドでの開催。